

令和4年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類	授業担当者
保育内容指導法・人間関係				演習	下平正恵
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
1	1	30	15	前期	幼免：必修 保育士：選択必修
〔授業の目的・ねらい〕 領域「人間関係」の理念を理解し、乳幼児から小学校までの発達の特徴を踏まえ、保育の営みの中で乳幼児がどのように人とのかかわりをはぐくむのかを学ぶ。またそのうえで保育者の役割と援助についても学ぶことをねらいとする。					
〔授業全体の内容と概要〕 領域「人間関係」のねらいや内容について理解する。乳幼児の人間関係の発達について理解する。乳幼児が小学校・中学校と成長していくことを踏まえ「人間関係」という視点から保育者の役割について理解する。					
〔受講上の注意事項〕 ワークやビデオなどを通して自分の考えや意見を持ち、それを人に伝えられるようにしてください					
〔使用テキスト〕 保育内容「人間関係」(アクティベート保育学)			〔評価基準〕 試験60%、授業態度・積極性・提出物40%		
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕					
回	項目	授業内容			
1	領域「人間関係」とは	幼稚園教育要領における領域「人間関係」の全体像			
2	教師との信頼関係	教師として子どもとどのように信頼関係を作り、援助するか			
3	自立心	子どもの自立心を育む援助について			
4	友達との遊び	遊びを通して自他の気持ちに気づく援助とは			
5	心の折り合い	子どもながらの心の折り合いをつけるための援助			
6	きまり	きまりをめぐる課題と援助			
7	遊びの中のルール	遊びの中でルールを守り楽しく遊ぶための援助			
8	個と集団	個と集団のどちらも大切にする援助			
9	遊びにおける育ち	遊びにおける育ちの長期展望			
10	行事	行事のねらいと活動内容			
11	幼小の交流	小学生との交流活動を考える			
12	小学校を見据えたかかわり	小学校以降を見据えた生活や学習			
13	地域の中の生活	地域の中での人とのかかわり			
14	多様な人とのかかわり	多様な人、子どもとのかかわりの中で生きる幼児への援助			
15	領域「人間関係」をめぐる課題	領域「人間関係」をめぐる現代的課題・まとめ			
実務教員としての経歴	保育所にて保育士として5年(そのうち1年副主任)勤務。				
実務経験と授業の関連	保育者としての経験を活かし保育内容において必要な知識と技術を養う。				